

ガバナーカップ指導者研修報告

日時: 2017年3月25日(土) 10:30~12:00

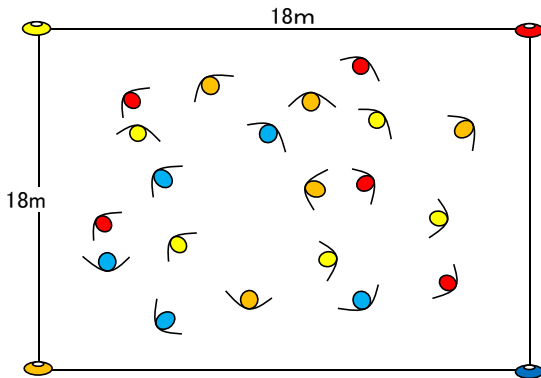
場所: 三木総合防災公園 第2陸上競技場(天然芝グラウンド)

講師: トーマス・ウラン(ポルシアメンヘンブランドバツハU18監督)

ベアン・ディックマン(ポルシアメンヘンブランドバツハU18コーチ)

参加者数: 43人

W-up



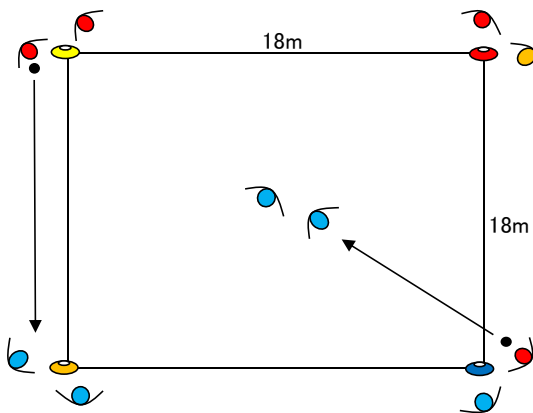
【ルール&オーガナイズ】

5人×4組 それぞれが赤・黄・青・オレンジのピブス(マーカー)を手に持ち、移動しながらどんどん交換する。交換しながらコーチの合図で様々なリアクションをする。

- ①コーチの合図(声)で色ごとに集まる。
- ②コーチが手を挙げると角に集まる。
- ③コーチと同じポーズをとる。
- ④コーチの合図で自分たちで色ごとに角で集まる。
 - ④a 自分たちで集まる角を決める。
 - ④b 3人だけ両足で立てる。
 - ④c 4本の足だけつける。
 - ④d 3本の足だけつける。

※ 様々な条件を加えていくことで、選手たちに観ることを促していった。観ることだけでなく、考えること、選手たちがコミュニケーションをとることを促していった。

TR-1



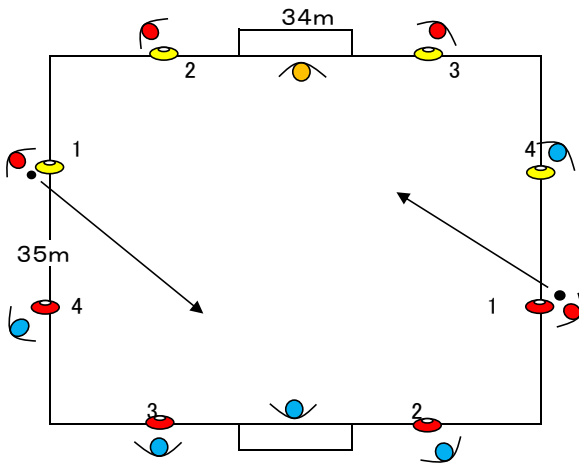
【ルール&オーガナイズ】

10人でボール2個を動かす。パスはどの選手に出しても構わない。

- ①パスをしたら、出した所へ移動
- ②パスをしたら、別の場所へ移動

※ ボールを持っていない選手も常に、関わりながら、多くのパスコースを作る。速パススピードを要求。ボールをよく観ること、観方が何処にいるかをよく観て、テンポよく行う。強く出す、素早く移動する。誰もいなくなる場所を作らないよう全員で状況を把握する。

TR-2



【ルール&オーガナイズ】

各チーム1~4の番号の場所に分かれる。番号を呼ばれた選手は、ドリブルで進入しシュートを打つ。

- ①シュートの後、コーチが一人を指さす。指名された選手がボールを持って進入し、シュートを打った選手と2対1となり攻防する。オフサイドあり。

※ シュートを打った後、よく観て攻撃なのか守備なのかを判断

- ②シュートの後、コーチが2人を指名し2対2となり攻防する。
- ③シュートの後、コーチが4人を指名し3対3となり攻防する。

※ 待っている選手も、常に集中してコーチと中の状況を観ておく必要がある。

トーマス監督、ベアンコーチより

12才ぐらいまではテクニックを学ぶ必要がある、しかしそこには多少の戦術的理解を含めたテクニックの習得が必要である。トレーニングで学んだことを発揮するのはゲームであるから、どんどんゲームをさせてほしい。トレーニングの中で混乱を起こさせることが大切、その混乱が、素早い判断が伴い、素早く動けるようになっていきたい。

